

令和4年度 朋有小学校 学校経営方針

朋有小学校 校長 石川 悦子

豊島区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

朋有小学校の教育

<教育目標>

にっこり あいさつ はっきり すてきなことば やる気いっぱい 心ひとつに

合言葉：たのしいみんなのひろば 朋有小

<朋有小学校が目指す姿>

学校像：たのしいみんなのひろば 安全で健やかな学校（ISS認証校）

児童像：笑顔で始まり、自分の言葉で気持ちを伝え合い、本気で力を発揮する児童

教師像：教師は子供の成長を自分のことのように喜び合える

教育目標を達成するために

1 確かな学力の定着と豊かな個性を伸長する教育の推進

学習指導要領の具現化、教育活動の質の向上を目指し、カリキュラム・マネジメントの視点で学習指導要領を確実に行う教育計画を編成・実施する。基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得・活用および問題解決的な学習を通して、児童自ら主体的・対話的で深い学びを身に付ける教育を創造する。

2 人権教育と豊かな心を育む教育の推進

人権教育、道徳教育、特別活動等の充実を図り、子供たちの自尊感情と自己有用感を高め、他者とよりよい人間関係を形成する力を育成する。

3 健やかな体の育成と健康教育の推進

運動や体づくり運動等の取組、自らの健康に関する意識を高め、生涯を通じてたくましく生きる基盤を養う。

4 一人一人を大切にする教育の推進

より良い人生を生き抜くため、必要となる基礎的な力を育み、個性や能力にあった最適な学びを支える。

5 安全・安心な学校づくりと教育環境の充実

子供自らが危険を回避する力を高める教育を推進し、インターナショナルセーフスクール（ISS）認証校として、活力ある学校生活を充実させる。

6 学校と家庭・地域社会の連携・協働と学校経営改革の推進

SDGsの取組を軸として「社会に開かれた教育課程」の実現を図るとともに、地域の教育力をいかした特色ある学校づくりに務める。

7 その他 公務員としての自覚

- ①サービスの厳正 ②学び続ける公務員
- ③健康・メンタルの充実 ④働き方改革

朋有小学校 グランドデザイン

たのしいみんなのひろば 朋有小

を目指すための6本の柱



【Ⅰ 確かな学力の定着と豊かな個性を伸長する教育の推進】

外国語活動の研究（豊島区教育委員会研究開発指定校）
「子供の未来を応援する対策」学力向上を目指す授業改善
基礎基本の習得 ゆめのくに図書館の積極的活用
個に応じた日本語指導 キャリア教育（キャリアパスポートの活用）
ICT・タブレット型PCの活用 共同学習の充実 他

【Ⅱ 人権教育と豊かな心を育む教育の推進】

いじめ・不登校防止（未然防止・早期発見）
自己肯定感・自己有用感を培う心の教育の充実
人権教育の推進（「豊島区子どもの権利に関する条例」学習
パンフレットの活用等）道徳教育の充実 他

【Ⅲ 健やかな体の育成と健康教育の推進】

児童の主体的なISS活動を軸とした心とからだの健やかな育成
インクルーシブ教育の推進 生活リズムの向上
体力向上（体育朝会・朋有エンジョイタイム・なわとび等）
あいさつ指導 食育教育の充実
校内委員会を核とした児童の支援体制の確立
SC・心理士・教育センターとの情報共有

【Ⅳ 一人一人を大切にする教育の推進】

児童一人一人の教育的にニーズに対応できる学びの場の充実
通常・竹の子・くわのみとの交流授業・理解啓発授業の推進
学校2020レガシー（障害者理解教育・豊かな国際感覚の育成
・LGBT理解等）をもとにした教育活動
一人一人の心の寄り添う教育の実践
校内委員会を核とした児童支援体制の確立
「子どもの権利条約」の共有
児童の安全・安心確保

【Ⅴ 安全・安心な学校づくりと 教育環境の充実】

ISSの認証校（けが等予防対策 ISSノートの活用
セーフタイムの設定 ブロック連携校への情報発信 等）
ISS 再認証に向けた取組
交通安全意識の向上
自転車ヘルメット着用率の向上

【Ⅵ 学校と家庭・地域社会の連携・協働と学校経営改革の推進】

SDGsの目標11「住み続けられる町づくり」目指して（イケサンパーク・サンシャインシティ等
地域施設の活用、太鼓等伝統文化の継承）HPやClassroomを活用した情報の積極的発信
「学びの連続性・育ちの連続性」を考慮した西巣鴨中学校ブロックの小中連携
（「チェックリスト（教員の具体的な手立て）」の活用 大塚バラロード保全活動）
学校運営連絡協議会・ISS 地域対策委員会・PTA・子どもスキップ朋有との情報共有
巣鴨警察（スクールサポーター）との情報共有 権利グループ・児童相談センターとの情報共有
町会・地域・NPOとの連携 地域人材の積極的（大学等）